

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 ローランド株式会社
 コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部・経理部担当 (氏名) 中村 健也

TEL 053-523-3652

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	39,271	10.7	1,498	—	409	—	△510	—
22年3月期第2四半期	35,485	△33.2	△1,580	—	△1,632	—	△2,114	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△21.47	—
22年3月期第2四半期	△84.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	78,679	65,410	61.7	2,039.70
22年3月期	81,675	68,277	62.8	2,157.75

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 48,521百万円 22年3月期 51,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	12.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,400	5.8	3,100	—	1,600	—	△400	—	△16.81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料6ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 25,572,404株 22年3月期 25,572,404株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,783,941株 22年3月期 1,783,960株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 23,788,402株 22年3月期2Q 25,108,041株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在においての経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(第2四半期連結累計期間)	9
(第2四半期連結会計期間)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、当社ホームページで掲載する予定です。

・平成22年11月12日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績

(単位：百万円)

	第2四半期連結会計期間(3ヶ月)			第2四半期連結累計期間(6ヶ月)		
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率
売上高	18,303	20,015	+9.4%	35,485	39,271	+10.7%
電子楽器事業	10,682	11,498	+7.6%	21,512	22,990	+6.9%
コンピュータ周辺機器事業	7,621	8,517	+11.8%	13,973	16,281	+16.5%
営業利益又は営業損失(△)	△151	1,069	—	△1,580	1,498	—
電子楽器事業	△776	△166	—	△1,451	△190	—
コンピュータ周辺機器事業	624	1,235	+97.9%	△128	1,688	—
経常利益又は経常損失(△)	△236	365	—	△1,632	409	—
四半期純損失(△)	△997	△202	—	△2,114	△510	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	第2四半期連結会計期間(3ヶ月)			第2四半期連結累計期間(6ヶ月)		
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率
電子楽器	4,260	4,681	+9.9%	8,561	8,905	+4.0%
ギター関連電子楽器	2,081	2,186	+5.0%	4,385	4,518	+3.0%
家庭用電子楽器	2,173	2,449	+12.7%	4,371	5,209	+19.2%
映像・音響及びコンピュータ・ ミュージック機器	1,454	1,512	+4.0%	2,883	2,987	+3.6%
その他	712	667	△6.2%	1,310	1,368	+4.4%
電子楽器事業	10,682	11,498	+7.6%	21,512	22,990	+6.9%
コンピュータ周辺機器事業	7,621	8,517	+11.8%	13,973	16,281	+16.5%
合計	18,303	20,015	+9.4%	35,485	39,271	+10.7%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	第2四半期連結会計期間(3ヶ月)			第2四半期連結累計期間(6ヶ月)		
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率
日本	2,424	2,443	+0.8%	4,870	5,004	+2.8%
北米	3,258	3,539	+8.6%	6,735	6,931	+2.9%
欧州	3,697	3,851	+4.2%	7,457	7,863	+5.5%
その他	1,301	1,663	+27.8%	2,449	3,189	+30.2%
電子楽器事業	10,682	11,498	+7.6%	21,512	22,990	+6.9%
日本	930	910	△2.2%	1,738	1,799	+3.5%
北米	1,842	2,146	+16.5%	3,327	3,786	+13.8%
欧州	2,850	2,985	+4.7%	5,356	5,662	+5.7%
その他	1,998	2,475	+23.9%	3,550	5,031	+41.7%
コンピュータ周辺機器事業	7,621	8,517	+11.8%	13,973	16,281	+16.5%
合計	18,303	20,015	+9.4%	35,485	39,271	+10.7%

当第2四半期における当社グループを取り巻く環境は、国内経済においては、円高の影響から企業業績や景気の先行きに不透明感が強まりました。一方、世界経済では、先進国で景気回復が鈍化する中においても個人消費が緩やかに回復し、中国をはじめとした新興国でも堅調に需要が拡大しました。

このような中、電子楽器事業においては、前年に実施した事業効率化による収益基盤を維持する一方で、市場ニーズに合った新製品の市場投入、ショップ・イン・ショップや製品イベント等によるお客様への直接訴求及び教育分野等への用途提案等、需要を喚起する取り組みに注力しました。

製品別には、新音源を搭載した電子ピアノの販売が好調であったことに加え、シンセサイザーや電子ドラムにおいて普及価格帯製品を中心として販売が回復し、前年同期を大きく上回りました。

地域別の販売状況は、日本国内が前年並みであった一方、北米や欧州では、新規販路の開拓やお客様への直接訴求に積極的に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。また中南米やアジアを含むその他の地域においては、シンセサイザーやギター関連製品を中心に販売が大きく伸長し、全体で前年同期を上回りました。

結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は114億98百万円（前年同期比7.6%増）と前年同期を上回ったものの、利益については、円高の影響もあり1億66百万円の営業損失（前年同期は営業損失7億76百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間では、売上高は229億90百万円（前年同期比6.9%増）、1億90百万円の営業損失（前年同期は営業損失14億51百万円）となりました。

コンピュータ周辺機器事業では、プリンターの新製品が市場から高い評価を受け販売が大きく伸長し、プロッタや工作機器等の製品も前年同期と比べ増加しました。地域別では、北米と欧州において販促活動の効果もあり前年同期を上回りました。また日本国内で前年並みで推移した一方で、需要の拡大が続いたアジアやその他の地域では大きく前年同期を上回りました。

結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は85億17百万円（前年同期比11.8%増）、利益面では、海外子会社での円高に伴う仕入コスト増加の一方、生産量増加による原価率改善もあり、12億35百万円の営業利益（前年同期比97.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間では、売上高は162億81百万円（前年同期比16.5%増）、16億88百万円の営業利益（前年同期は営業損失1億28百万円）となりました。

以上の結果、全体における、当第2四半期連結会計期間の売上高は200億15百万円（前年同期比9.4%増）、10億69百万円の営業利益（前年同期は営業損失1億51百万円）となり、加えて円高による為替差損の発生や税効果会計等の影響により、3億65百万円の経常利益（前年同期は経常損失2億36百万円）、2億2百万円の四半期純損失（前年同期は四半期純損失9億97百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間では、売上高は392億71百万円（前年同期比10.7%増）、14億98百万円の営業利益（前年同期は営業損失15億80百万円）、4億9百万円の経常利益（前年同期は経常損失16億32百万円）、5億10百万円の四半期純損失（前年同期は四半期純損失21億14百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間(※)における平均為替レートは、92円/米ドル（前年同期97円）、117円/ユーロ（同133円）、当第2四半期連結累計期間(※)では、91円/米ドル（前年同期95円）、121円/ユーロ（同127円）でした。

(※) 海外連結子会社の会計期間は1月～12月のため、当第2四半期連結会計期間は4月～6月、当第2四半期連結累計期間は1月～6月となります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

【電子楽器事業】

[電子楽器]

シンセサイザーは、北米を中心として、エントリータイプ等の既存製品が販売好調であったことに加え新製品の発売も貢献し、全体として前年同期を大きく上回りました。電子ドラムも、北米を中心とした普及価格帯製品の販売好調により前年同期を上回ったことに加え、新興市場である中国でも販売が大きく伸長しました。楽器用アンプは、日本国内、欧州及びアジアで電池駆動対応製品が好調であったため前年同期を上回りました。結果、電子楽器の売上高は、当第2四半期連結会計期間では46億81百万円（前年同期比9.9%増）、当第2四半期連結累計期間では89億5百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

[ギター関連電子楽器]

主力であるギター用エフェクターは、日本国内では前年並みで推移した一方、北米と欧州を中心に複数機能をもったマルチ・タイプの普及価格帯製品やボーカル用エフェクター製品が販売好調であったため、全体として前年同期を上回りました。マルチ・トラック・レコーダーは、日本国内を中心として新製品の販売が好調に推移しました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は、当第2四半期連結会計期間では21億86百万円（前年同期比5.0%増）、当第2四半期連結累計期間では45億18百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

[家庭用電子楽器]

電子ピアノは、「スーパーナチュラル・ピアノ音源」を搭載した製品が市場で好評を得て、日本国内、欧州を中心として販売が好調に推移しました。また中国における同国専用モデルの販売開始もあり、全体として前年同期を大きく上回りました。電子アコーディオンは、欧州で前年より引き続き堅調に推移しました。結果、家庭用電子楽器の売上高は、当第2四半期連結会計期間では24億49百万円（前年同期比12.7%増）、当第2四半期連結累計期間では52億9百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

[映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

コンピュータ・ミュージック機器は、日本国内や北米での販売減少が大きく、全体としては前年同期を下回りました。一方、業務用音響及び映像機器では設備投資の回復に加え、デジタル・ミキサーやビデオ・ミキサー等の新製品が好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。結果、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、当第2四半期連結会計期間では15億12百万円（前年同期比4.0%増）、当第2四半期連結累計期間では29億87百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

[その他]

日本国内及びアジアにおいて通信カラオケ機器用音源の販売が減少し、その他の売上高は、当第2四半期連結会計期間では6億67百万円（前年同期比6.2%減）、当第2四半期連結累計期間では13億68百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、メタリックカラーによる新しい表現力に加え、高画質でありながらも価格を抑えた新製品の販売が好調に推移し、プリンター全体で前年同期を大きく上回りました。プロッタは、前年同期と比較して主力機種の販売が堅調に推移し、工作機器は、切削機等の主力機種の販売回復に加え、メタルプリンターの新製品による新たな用途提案が顧客層の拡大に結びつき、ともに販売が前年同期を上回りました。プリンターの販売が好調であった一方、インク等のサプライ品は前年同期と比較しほぼ横ばいで推移しました。

結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、当第2四半期連結会計期間では85億17百万円（前年同期比11.8%増）、当第2四半期連結累計期間では162億81百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①当期末の資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較して29億95百万円減少し、786億79百万円となりました。その主な要因は、主として関係会社3社を新たに連結子会社としたことにより有形固定資産が12億48百万円、原材料及び貯蔵品が9億17百万円それぞれ増加し、投資有価証券等の投資その他の資産が21億64百万円減少したことに加えて、現金及び預金が18億56百万円、商品及び製品が8億63百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して1億28百万円減少し、132億69百万円となりました。その主な要因は、繰延税金負債の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して28億67百万円減少し、654億10百万円となりました。その主な要因は、四半期純損失が5億10百万円、剰余金の配当が2億37百万円あり、また在外関係会社の前会計年度末である平成21年12月末から第2四半期会計期間末である平成22年6月末にかけての主要国通貨に対する円高進行を受け為替換算調整勘定が18億40百万円減少したことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産、純資産それぞれの減少を受け、前連結会計年度末と比較して1.1ポイント低下し、61.7%となりました。

②当期のキャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,910	△134	△2,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266	△306	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,905	14	1,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△1,085	△1,079
現金及び現金同等物の減少額	△267	△1,511	△1,243
現金及び現金同等物の第1四半期末残高	19,729	20,122	392
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	19,461	18,611	△850

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、186億11百万円となり、前第2四半期連結会計期間末に比べ、8億50百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、前第2四半期連結会計期間は19億10百万円の資金の収入があったのに対し、当第2四半期連結会計期間は1億34百万円の資金の支出となりました。その主な要因は、前第2四半期連結会計期間において、たな卸資産の大幅な削減による資金の収入があった一方、当第2四半期連結会計期間において、売上高の増加により売上債権が増加したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、3億6百万円の資金の支出となり、前第2四半期連結会計期間と比べ、39百万円の支出の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が減少した一方、前第2四半期連結会計期間において、有価証券の償還による収入があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、前第2四半期連結会計期間は19億5百万円の資金の支出であったのに対し、当第2四半期連結会計期間は14百万円の資金の収入となりました。その主な要因は、前第2四半期連結会計期間において、返済により短期借入金が大幅に減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月7日に公表しました通期業績予想につきまして見直しを行いました。なお、詳細につきましては、本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」で開示しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

適用している簡便な会計処理に重要なものではありません。また、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理は適用していません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,611,610	20,467,753
受取手形及び売掛金	10,159,197	10,013,453
有価証券	104,351	—
商品及び製品	13,779,395	14,643,182
仕掛品	678,161	317,820
原材料及び貯蔵品	4,668,047	3,750,236
その他	5,042,676	5,543,210
貸倒引当金	△496,815	△393,386
流動資産合計	52,546,623	54,342,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,854,164	20,929,686
機械装置及び運搬具	3,460,178	3,440,163
工具、器具及び備品	10,878,191	10,916,384
土地	8,362,437	7,825,547
建設仮勘定	39,576	23,653
減価償却累計額	△25,350,052	△25,139,709
有形固定資産合計	19,244,495	17,995,726
無形固定資産		
のれん	81,612	126,542
ソフトウェア	1,173,368	1,373,705
ソフトウェア仮勘定	22,933	56,546
その他	80,298	85,619
無形固定資産合計	1,358,214	1,642,414
投資その他の資産		
投資有価証券	1,925,379	2,844,585
その他	3,692,300	4,952,628
貸倒引当金	△87,114	△101,824
投資その他の資産合計	5,530,565	7,695,390
固定資産合計	26,133,275	27,333,531
資産合計	78,679,899	81,675,801

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,192,430	3,507,364
短期借入金	778,965	422,987
1年内返済予定の長期借入金	19,821	42,486
未払法人税等	697,392	186,749
賞与引当金	1,330,452	1,146,354
役員賞与引当金	20,000	—
製品保証引当金	400,625	430,967
その他	4,101,191	4,779,412
流動負債合計	10,540,879	10,516,321
固定負債		
長期借入金	267,951	257,914
繰延税金負債	34,332	146,393
再評価に係る繰延税金負債	187,289	187,289
退職給付引当金	245,238	160,447
その他	1,993,549	2,129,725
固定負債合計	2,728,361	2,881,770
負債合計	13,269,240	13,398,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,801,179	10,801,192
利益剰余金	36,688,870	37,360,369
自己株式	△1,767,414	△1,767,421
株主資本合計	54,996,908	55,668,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△133,556	162,677
土地再評価差額金	△1,498,983	△1,498,983
為替換算調整勘定	△4,842,979	△3,002,540
評価・換算差額等合計	△6,475,519	△4,338,847
少数株主持分	16,889,269	16,948,143
純資産合計	65,410,658	68,277,708
負債純資産合計	78,679,899	81,675,801

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	35,485,729	39,271,455
売上原価	22,340,292	22,907,342
売上総利益	13,145,436	16,364,112
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,800,862	1,664,590
貸倒引当金繰入額	15,160	169,228
給料及び賞与	6,965,255	6,677,979
賞与引当金繰入額	476,072	594,009
役員賞与引当金繰入額	—	20,000
製品保証引当金繰入額	48,676	78,344
その他	5,419,600	5,661,745
販売費及び一般管理費合計	14,725,627	14,865,897
営業利益又は営業損失(△)	△1,580,191	1,498,214
営業外収益		
受取利息	90,535	52,405
受取配当金	33,165	63,493
為替差益	24,793	—
持分法による投資利益	48,663	—
その他	145,989	165,399
営業外収益合計	343,147	281,297
営業外費用		
支払利息	157,407	31,671
売上割引	191,419	292,186
為替差損	—	992,829
その他	47,069	53,432
営業外費用合計	395,896	1,370,119
経常利益又は経常損失(△)	△1,632,940	409,392
特別利益		
固定資産売却益	11,588	2,853
投資有価証券売却益	520	260
特別利益合計	12,108	3,113
特別損失		
固定資産除売却損	23,549	29,824
投資有価証券評価損	3,764	2,442
特別損失合計	27,313	32,266
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,648,145	380,239
法人税、住民税及び事業税	371,821	849,583
法人税等調整額	827,308	△347,129
法人税等合計	1,199,130	502,453
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△122,214
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△732,837	388,571
四半期純損失(△)	△2,114,438	△510,786

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	18,303,950	20,015,865
売上原価	11,186,457	11,514,180
売上総利益	7,117,493	8,501,685
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	875,779	834,237
貸倒引当金繰入額	—	85,002
給料及び賞与	3,474,652	3,274,019
賞与引当金繰入額	236,311	312,518
役員賞与引当金繰入額	—	10,000
製品保証引当金繰入額	25,748	40,878
その他	2,656,592	2,875,595
販売費及び一般管理費合計	7,269,084	7,432,251
営業利益又は営業損失(△)	△151,590	1,069,433
営業外収益		
受取利息	42,078	27,061
受取配当金	13,240	74
その他	80,824	69,391
営業外収益合計	136,143	96,527
営業外費用		
支払利息	71,166	12,456
売上割引	100,040	151,128
為替差損	35,275	609,027
持分法による投資損失	8,513	—
その他	6,479	28,296
営業外費用合計	221,476	800,909
経常利益又は経常損失(△)	△236,923	365,051
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,785	—
固定資産売却益	1,653	2,263
投資有価証券売却益	260	—
特別利益合計	8,698	2,263
特別損失		
固定資産除売却損	17,850	25,863
投資有価証券評価損	123	—
特別損失合計	17,973	25,863
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△246,198	341,450
法人税、住民税及び事業税	120,763	641,987
法人税等調整額	966,788	△339,911
法人税等合計	1,087,552	302,075
少数株主損益調整前四半期純利益	—	39,374
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△335,988	241,923
四半期純損失(△)	△997,763	△202,548

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,648,145	380,239
減価償却費	1,405,434	1,213,848
のれん償却額	95,666	32,801
受取利息及び受取配当金	△123,700	△115,898
支払利息	157,407	31,671
為替差損益(△は益)	△165,540	470,824
持分法による投資損益(△は益)	△48,663	—
固定資産売却損益(△は益)	△11,588	—
固定資産除売却損益(△は益)	23,549	26,971
投資有価証券評価損益(△は益)	3,764	2,442
売上債権の増減額(△は増加)	337,958	△658,913
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,109,725	△985,609
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,608,694	△77,209
その他	205,470	△236,076
小計	1,732,644	85,090
利息及び配当金の受取額	109,610	105,583
利息の支払額	△129,930	△39,213
法人税等の還付額	819,973	180,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,532,297	332,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△990,132	—
定期預金の払戻による収入	—	62,825
有価証券の取得による支出	—	△121,652
有価証券の売却による収入	499	—
有形固定資産の取得による支出	△601,151	△476,391
有形固定資産の売却による収入	19,942	8,757
無形固定資産の取得による支出	△170,372	△164,773
投資有価証券の売却による収入	1,000	500
関係会社株式の取得による支出	△44,500	—
出資金の払込による支出	—	△1,670
長期貸付けによる支出	△1,020	△1,694
長期貸付金の回収による収入	9,722	11,355
その他	313,586	100,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,462,425	△582,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,130,472	269,422
長期借入れによる収入	—	12,006
長期借入金の返済による支出	△21,860	△21,052
配当金の支払額	△376,622	△237,884
少数株主への配当金の支払額	△373,964	△174,913
その他	△17,396	△13,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,920,316	△166,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	100,224	△1,548,920
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,750,219	△1,965,293
現金及び現金同等物の期首残高	23,078,549	20,401,506
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	133,578	175,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,461,909	18,611,344

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	電子楽器事業	コンピュータ周辺機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,682	7,621	18,303	—	18,303
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,682	7,621	18,303	—	18,303
営業利益又は営業損失(△)	△776	624	△151	—	△151

(注)1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して、電子楽器事業とコンピュータ周辺機器事業に区分しています。

2. 各事業の主要な製品

(1) 電子楽器事業

電子ピアノ、シンセサイザー、電子ドラム、エフェクター、デジタル・レコーダー、コンピュータ・ミュージック関連機器

(2) コンピュータ周辺機器事業

プリンター、プロッタ、モデリングマシン

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	電子楽器事業	コンピュータ周辺機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	21,512	13,973	35,485	—	35,485
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,512	13,973	35,485	—	35,485
営業損失(△)	△1,451	△128	△1,580	—	△1,580

(注)1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して、電子楽器事業とコンピュータ周辺機器事業に区分しています。

2. 各事業の主要な製品

(1) 電子楽器事業

電子ピアノ、シンセサイザー、電子ドラム、エフェクター、デジタル・レコーダー、コンピュータ・ミュージック関連機器

(2) コンピュータ周辺機器事業

プリンター、プロッタ、モデリングマシン

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	欧 州	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	5,621	5,464	6,202	1,015	18,303	—	18,303
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,107	50	135	—	7,293	(7,293)	—
計	12,728	5,515	6,338	1,015	25,597	(7,293)	18,303
営業利益又は営業損失(△)	△429	△197	△169	31	△765	613	△151

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：ブラジル、オーストラリア

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	欧 州	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	10,683	10,783	12,085	1,932	35,485	—	35,485
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,607	111	317	—	13,036	(13,036)	—
計	23,291	10,895	12,402	1,932	48,522	(13,036)	35,485
営業利益又は営業損失(△)	△1,471	△669	△329	23	△2,448	867	△1,580

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：ブラジル、オーストラリア

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

(単位：百万円)

	北 米	欧 州	その他	計
I 海外売上高	5,100	6,548	3,300	14,949
II 連結売上高				18,303
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.9	35.8	18.0	81.7

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：東南アジア、中南米、豪州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

(単位：百万円)

	北 米	欧 州	その他	計
I 海外売上高	10,062	12,814	5,999	28,876
II 連結売上高				35,485
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.4	36.1	16.9	81.4

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：東南アジア、中南米、豪州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は電子楽器、電子機器及びその付属品の開発、製造、販売を主な事業としており、連結子会社であるローランド ディー・ジー・(株)はコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売を主な事業としています。当社グループは、これら製品及びサービス別のセグメントから構成されており、「電子楽器事業」、「コンピュータ周辺機器事業」の2つを報告セグメントとしています。

「電子楽器事業」は、電子楽器、ギター関連電子楽器、家庭用電子楽器、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器等の開発、製造、販売を行っています。「コンピュータ周辺機器事業」は、プリンター、プロッタ、モデリングマシン等の開発、製造、販売を行っています。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客に対する売上高	22,990	16,281	39,271
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	22,990	16,281	39,271
セグメント利益又は損失(△)	△190	1,688	1,498

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客に対する売上高	11,498	8,517	20,015
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,498	8,517	20,015
セグメント利益又は損失(△)	△166	1,235	1,069

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。